

平成29年度
四倉中学校

学校だより

6月16日(金) 第10号

文責 校長 中根 猛

市中体連大会始まる

各種目の市中体連大会が6月9日(金)より始まりました。本校は、9種目に出場し今日までに水泳、ソフトテニス、卓球女子団体を除く6種目が終了しました。どの種目においても全力でプレーしました。その結果、柔道男女団体と個人、剣道女子団体が県大会出場を決めました。各部保護者会の皆様には、早朝からの選手引率や声をからしての熱い声援をいただきありがとうございました。各種目の結果は、次の通りです。

- 野球は、上遠野中に勝利し中体連公式戦の勝利を味わいました。次の植田東中に惜敗。
- バスケットボールは、男子が玉川中に女子は赤井中に惜敗。補助員としても頑張りました。
- バレーボールは、錦中と勿来二中と中央台南中に惜敗。上位リーグに属するチーム相手に善戦しました。
- 剣道は、女子団体戦で3位になり念願の県大会出場を決めました。
- 柔道は、男子団体と女子団体で優勝。男子個人戦では、81kg級渡辺航平君が優勝。90kg級賀澤夢海君が優勝、鈴木章紘君が4位。90kg超級佐藤悠雅君が2位。73kg級齋藤沙把羅君が4位。女子個人では、63kg級岩崎由奈さんが優勝、酒井こなつさん2位。70kg級楠本夏望さん優勝、新妻紗玖良さん2位。
- サッカーは、平一中に惜敗。雷のために試合が途中中断しましたが粘り強く戦いました。
- テニスは、個人戦が終了。男女1ペアずつ2日目に勝ち進みましたが、男子ベスト16と女子ベスト32で惜敗。本日の団体戦に臨んでいます。
- 卓球は、団体戦予選と個人戦が終了しました。男子は、団体戦、個人戦共に試合を終えました。女子は個人戦シングルスで満山梨佳さんと小林結芽さんが5位に入賞し県大会出場を決めました。団体戦は、予選を突破し17日の決勝リーグ戦に駒を進めました。

富岡支援学校との交流会

15日(木)に富岡支援学校中学部生徒との交流会を開きました。富岡支援学校の中学部と高等部が四倉高校内に移転したのに伴い近隣の四倉中学校と交流の機会を設けたいという要望から実現しました。交流した学級は1年1組です。富岡支援学校の10名の生徒さんは、先生方に付き添われて徒歩で来校しました。1組の皆さんは、5班に別れてそれぞれ2名の支援学校の生徒さんを交えて交流しました。全体の進行は、渡邊光季さんが務めました。にこやかな表情と明朗な語りの素晴らしい進行ぶりでした。また、開会の言葉を酒井仁太君、歓迎のことばを片寄翔太君、閉会のことばを新妻美羽さんが担当ししっかりと役割を果たしました。

始めに自己紹介を行いました。好きな食べ物や得意なことなどを伝え合いました。支援学校の皆さんは、イラストや写真を貼ったポスターを先生に提示してもらいながら自己紹介をしていました。そして、交流班ごとに記念撮影をしました。拍手で迎え拍手で見送り温かな交流会をもつことができました。なお、次回は7月4日(火)に清掃活動で交流します。「ふくまる前広場」から国道にそった歩道のゴミ拾いを行う予定です。

<スポーツテストに思うこと>

6月6日にスポーツテストを実施しました。残った50m走や持久走は授業で行いました。四倉中の生徒は、実に真剣に一生懸命に体力テストに取り組んでいました。その様子から感じたことをしたためます。

ところで、県の教育課題の一つが体力の向上です。体力の程度を見る目安となるのがスポーツテストの結果です。そのためにスポーツテストに取り組む姿勢が問題になります。真剣に取り組んでいるのか、実施時期は適切かなど疑問を投げかける教育関係者もいます。

14、15日に授業で行った持久走の様子を垣間見て本校の取り組みは素晴らしいと実感しました。生徒が本気で走っている姿と走っている仲間と声をかけて叱咤激励する姿に感激しました。このような積み重ねが人間関係や友情を育むのだと感じたところです。